

2019年（令和元年）10月22日（火曜日）(7)

安全と健康を推進

都内で協議会を開催

ドライバーの定期健康診断後のフォローを支援する「運輸ヘルスケアナビシステム」を運用するNPO法人ヘルスケアネットワークは2008年4月以降、安全と健康管理をテーマに運輸企業関係者が参加できる「安全と健康を推進する協議会」を開催している。

(西輪会)」を毎年開催している。今年は9月に東京、10月に大阪で開催した。

9月27日に東京都トラック協会で開催された24回目の協議会では、「運輸業界の高齢化への対応と働き方」をテーマに、ヘルスケアネットワークの保健師による情報提供や

参加者によるグループディスカッションが行われた。まず、黒田悦子保健師が健康対策を解説。高齢ドライバーに対するは毎日の健康管理や労働時間の短縮といった対応が必要となるとした。橋詰謙一帆保健師は高齢ドライバーの聴力について説明。

聞き返しなど難聴の様子が見られた場合は、医療機関の診察を受けさせようにしてほしいところだ。

協議会代表を務める佐
本貞子副理事長は、高齢
になってもドライバーの
仕事を続けたいと考え方
人が多い一方、乗用車を
中心に高齢ドライバーによ
る事故が多発している
とし、「企業は早急な対策
が必要になる」と話した。